



歯のはなし

治療が終わった歯でも
お手入れを怠おこたっていると、
また“むし歯”になってしまいます

治療が終わった歯は、表面にしっかり金属の詰め物がしてあったり、被かぶせてあったりと、とても丈夫な作りになっているように見えます。ですから、「もう二度とむし歯にはならないだろう」と思う方も多いでしょう。

しかし!!!!!!!

治療が終わった歯でも、その後のお手入れを怠っていると、再びむし歯になってしまうこともあります。これを歯科専門用語で『二次カリエス(二次的なむし歯)』と呼びます。



また、治療がすべて終わるとすっかり安心してしまい、その後、歯科医院に全く行かなくなってしまう方もいらっしゃいますが、その期間の油断がこの「二次カリエス」の発生を促してしまうのです。

実は、この「二次カリエス」の原因のほとんどが
“不十分なブラッシング”にあります。

なぜなら、むし歯や歯周病はもともと“歯ブラシが届きにくい場所”や“目で確認しにくい場所”など、お手入れの行き届かない場所に多く発生するものなので、治療が済んだからといって安心するのではなく、済んだからこそ、以前にも増してきめ細かなお手入れをする必要があるのです。

また、歯みがきの他に重要なことが『歯の定期健診』の習慣をつけることです。

むし歯でも歯周病でも、一度見つければ何度か歯科医院へ通わなければなりません。



忙しい人ほど、自覚症状があっても敬遠したくなる気持ちはわからなくもありません。

けれども、少なくとも年に数回は『歯の定期健診』を行っていると、むし歯・歯周病の早期発見にもつながるため、仮にまた見つかったとしても治療は短期間で済むのです。

「急がば回れ」、これがご自身の歯を守るための一番の方法です。